小さな婚約者

瀬田双樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小さな婚約者

【Nコード】

N0405Y

【作者名】

瀬田双樹

【あらすじ】

親同士が親友であった事から勝手に決められた私の婚約者さま。しっかし年の差ありますよ。なんと！彼は中学生なんです。

小さな婚約者が出来たのは、七歳の時だった。

父親と父親の友人の約束事であつたらしい。「お互いの子供を結婚させようなっ！」などという人の人生を勝手に取り決める、最悪な約束。

しかしながら同年に結婚したらしいが、父親の友人：野々宮さんは中々子宝に恵まれずにいた。その代わりか、野々宮夫妻は私を実の娘のように可愛がり慈しんでくれた。だが、それも……：夫妻に本物の子供が出来るまでだった。以来、婚約者たる野々宮夫妻の息子、聡明くんの未来の奥様、つまりは義理の娘としての扱いが始まったのである。

いやさ、七つ下って犯罪よ？

「…ねえ、離れない？ソウくん？」

「嫌です」

昔は「あきらちゃん」と可愛く私の名前を呼び、一生懸命後ろを着いてきた少年：聡明くん。身長も体重も私よりも大分少なく、読みは「さとあき」なのだが、両親が特別なニックネームとして聡の音読みのソウくん呼びを薦めて来たのでそれに従っている。しかし、そんなソウくんも中学一年生になった。

身長は私と同じ位まで育っている。…これからどんどん成長していくのだろう。

自らの腹部に回っている彼の腕も、やや筋肉がついている。男性らしい力強さの片鱗が現れてきたようだ。

嗚呼、彼のおしめを交換した日々はいずこ。嗚呼、彼の幼稚園のポ
ンチヨ姿はいずこ。嗚呼、彼のランドセル姿はいずこ。

「…何を考えているんですか？」

「へ！？」

私の首元に顔を寄せて聞いてくるソウくんは、何処と無く拗ねた様
子だ。

彼にとっては都合の悪い過去、私にとっては可愛らしい過去を思い
出していたと言えはどうか反応するだろうか。

まだ大人になりきれしていない彼は、「やめて下さい！」と顔を赤く
するだろう。そして、一日プンスカとした状態になる。見てる分には
可愛らしいが本人としては堪らないであろう、きっと。

だから、人差し指を彼の唇に押し当て 自称、大人のオンナスマ
イルで告げる。

「…秘密」

「そ、そうですか」

ソウくんは一瞬、口ごもった。これは照れている証拠である。何だ
かんだ言いつつも、私の婚約者さまはまだまだ純粹な中学生なのだ
から。

しかし、彼は何時までも小さな男の子ではない。

その証拠に 笑いを噛み殺していた私に、反撃の狼煙を彼はあげ
た。

「あきらさん、…俺はあなたの婚約者なんです。何時までも、翻弄
される側にはいませんから」

後ろから抱きついていた手を放し、ソウくんは首筋にキスを落とし

て…額を同じ場所に押し当てた。

…思考回路が停止した。

所詮は純粹な中学生、と侮りすぎていたのかもしれない。

ぎこちなくなつた私を見て、満足したような　　気持ちの高揚を伺わせるソウくんの声が再び紡がれる。

「待つて下さい。貴女の年齢には追い付けないけど、隣には立てます。貴女を俺の胸の中で抱き締められるように　　きつとなりますから」

そう、不敵に笑つたソウくんの顔は男の子ではなく、男の顔付きになつていた。

立場が逆転して、私が彼に翻弄される日は遠からず来るであろう事を　　まるで、暗示していたかのように。

(後書き)

つまりは年下敬語純粹少年が書きたかっただけみたいです。

一応設定。

(名字未設定) あきら

聡明の婚約者。

シヨタ趣味と友人から誤解を受けている。だが、実際は…年下の婚約者がいるので否定は出来ない。別に短パンや膝小僧は好きではない。

大人のオンナぶって聡明をからかった事を、後悔する日が来る事を彼女はまだ知らない…。

6

野々宮聡明

中学生。思春期に入りかけの素直な純粹少年。将来的にはあきらと立場を逆転させる。

好意は接触で示すタイプ。抱きついても中々意識してくれないあきらに、多少むくれている。

身長を伸ばそうと密かに努力している。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0405y/>

小さな婚約者

2011年11月16日11時11分発行